

みなみ

R2年度 竜王南小学校便り No. 2

2020.5.14 発行

甲斐市立竜王南小学校

学校教育目標

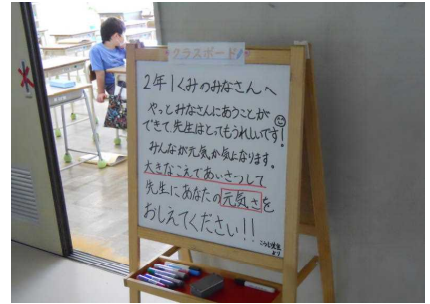
「楽しい学校（楽校）の創造」

— やる気 こん気 げん気 —



学校再開に向けて

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が延長されました。山梨県でも、多くの感染者が報告されています。甲斐市内の小中学校では、予定していた5月7日（木）からの授業再開を25日（月）に、5月10日（日）の入学式を24日（日）に再度延期することとなりました。入学式を楽しみにしていた44名の新入生と保護者・ご家族の方には複雑な思いでいらっしゃると思います。私たち教職員も入学式や始業式を心待ちにしていたのですが、このような事態となり大変残念です。



新しいお友達や担任の先生と接する機会が1ヶ月以上もてていないという異常事態に、多くの子ども達がストレスを抱えているのではないかと心配です。臨時休業中、学校では15時～17時まで校庭を子供たちに開放しています。毎日数名の児童が限られた時間ではありますが遊んでいる姿を見かけます。バスケや野球、サッカーなどして楽しむ子どもたちの姿を見かけるとホットした気持ちになります。少しでも子どもたちのストレスがなくなればと願います。

こうした状況の中、11日（月）より地区ごとによる分散登校を始めました。子ども達の不安やストレスの解消、学校再開に向けた準備になればと考えています。登校日の朝、各教室の様子を見て回りました。久しぶりに友達と交流でき、教室も生き生きしています。「おはようございます」とあいさつすると、元気に「おはようございます」と返してくれます。子ども達の様子を写真に撮っていると、わざわざ近寄ってきて「おはようございます」とあいさつしてくれる子どももいて、うれしくなりました。教室では、健康チェックカードによる健康観察、学習課題のチェック、短時間の学習指導、配布物の説明、学年によっては校庭や中庭で遊ぶ姿も見られました。今後、新型コロナウイルス感染防止に向け、子どもたちへの指導を行いながら、できる限りの対策を行っていきます。18日の週には2回目の分散登校を行います。2



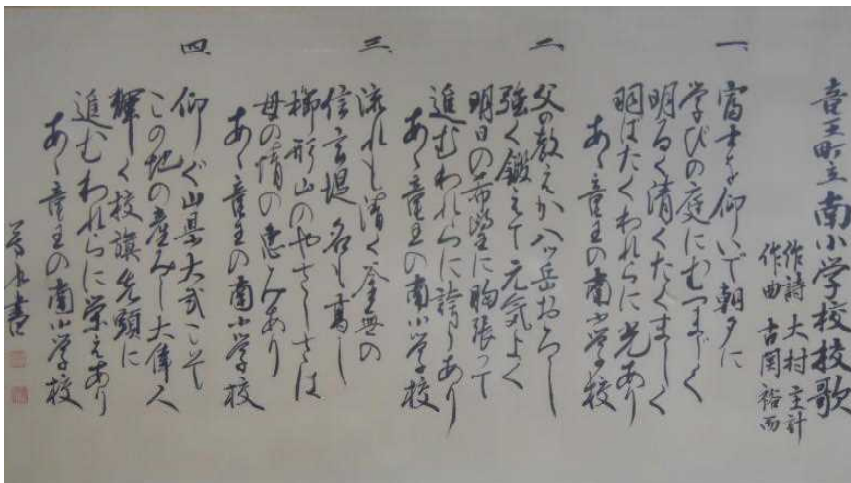
5日からの学校再開に向けて、慎重にそして確実に前進していけるよう、保護者の皆様の更なるご理解とご協力をお願いします。

うれしい「あいさつ」と「声かけ」

臨時休業中は保護者が自宅で見守ることのできない児童を学校で受け入れております。その子ども達が校庭や廊下で行き会すと「校長先生、おはようございます。」「あっ、新しい校長先生だ、こんにちは。」と声をかけてくれました。何でもない、当たり前のことかもしれませんが、とてもうれしかったです。子どもたちも新学期が始まらない中、友達や先生との関わりがもてずに、ふと不安になったり心配になったりする時があるかと思います。あいさつやちょっとした声かけでずいぶん励まされたり救われたりします。私たち大人も含めて、あいさつや、声をかけを大切にしていきたいものです。

竜王南小学校の校歌について

3月下旬、竜王南小学校の校長室を初めて訪れた際、とても印象に残ったのが下の校歌です。4番まである歌詞にも驚いたのですが、話を聞いてさらに驚いたのは、この校歌の作曲者が、NHK朝の連続ドラマ小説「エール」の主人公のモデルになっている古関裕而氏であることでした。古関氏が生涯で作曲した曲は5,000曲もあるそうで、全校高等学校野球大会のテーマ曲「栄冠は君に輝く」等だれでも一度は聴いたことのある歌の作曲者です。他にも阪神タイガースの応援歌「六甲おろし」、東京オリンピックの行進曲「オリンピックマーチ」など有名な曲を作曲しています。また、全国の小中学校の校歌や応援歌を数多く手がけ、未来を担う子ども達に「自分の夢をかなえてほしい」とエールを送ったのだと言われています。古関氏の思いの込められた校歌を誇りに思い、愛校心を育てていきたいです。



学校だより「みなみ」

学校の様子を積極的に発信し、信頼される学校づくりのための一つの取組として、学校だより「みなみ」を今年度も発行します。学校の様子や校長の考えも伝えて参ります。御愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

ウサギのお引き取りありがとうございました。

臨時休業中に数羽のウサギが生まれました。ウサギ小屋も手狭になり困っていましたが、担当の日向先生が中心になり、HP等で呼びかけたところ、引きとっていただける方が何人も見つかり助かりました。ありがとうございます。

